

Paper Craft Figure Book

禁断の肌色トルソー

カベリアル

等身大 (リアルサイズ)

TYPE-JC



Copyright © 2018 ももくりめろん

ペーパークラフトフィギュアブック

高さ：約85cm 幅：約27cm 奥行：約19cm

LEVEL : ★★☆☆☆





等身大  
壁尻



# もくじ

1. この本について	p 3
2. 注意事項	p 3
3. 作製に必要なもの	p 4
4. TIPS	p 4
5. 作製手順	p 5
6. 製作チュートリアル	p 6
7-1. ペーパークラフト型紙データ(折線あり)	p 19
7-2. ペーパークラフト型紙データ(折線なし)	p 43
おまけ画像 (サンプル使用例など)	巻末

## ■ 余白があるので製作記など ■

下の三点は【かべしり mini】で、中央が正規リリースしたものです。左右にあるのは幾つか作った試作品の一部です。一見同じように見えますが、A4に無駄なく入る大きさ、切り出しやすさ、他のものと合わせた際の色味などの調整は勿論、折り目やのりしろ、分割線などがすべて違います。設計は【かべしリアル】にて行い、後に約 1/3 の大きさにサイズダウンして【かべしり mini】となりますが、試験製作は最初に【かべしり mini】で確認して不具合が無ければ【かべしリアル】(等身大)で製作しています。



# 1. この本について

このたびは ペーパークラフトフィギュアブック かべしリアル TYPE-JC を選んでいただきありがとうございます。  
います。

この本はペーパークラフトのデータブックとなっており、掲載されている型紙データをプリンターにて A4 サイズの用紙に印刷していただくことにより立体的なペーパークラフトフィギュアを製作することができる電子ムックです。熟練度に併せて【折線あり】【折線なし】の選択ができます。

## 2. 注意事項

完成工作物は、架空の性別・形態・年齢の設定となっています。提供物の完成形はあくまでトルソー（マネキン）であり、公序良俗に反するものではありません。

製作にはカッターナイフ等の刃物や紙・接着剤などを使用します。製作中などこれらで人体に損傷がないように、製作には細心の注意を払ってください。

閉め切った部屋での有機溶剤を含んだ接着剤や塗料の使用は危険です。常に換気を行うなど十分な注意を払ってください。

作製手順や完成写真はあくまで参考です。作製手順は使用しているツールの種類等によって適宜変更してください。

お使いのプリンタやインクによって完成の色合い等が変わる場合があります。

製作中や製作後の完成品が第三者の目に触れることによって製作者の社会的地位や人格が脅かされることが生じても当方は一切の責任を負いません。心して取り組んでください。

このデータの購入者に限り、一度の購入で複数の製品を製作することができます。但し、以下の行為は一切禁止となります。

- ・改変の有り無しを問わず、完成・半完成品の有償での他者への提供
- ・有償・無償を問わず、当データ・配布物の第三者への提供や二次配布
- ・有償・無償を問わず、当データ・配布物の改変後の第三者への提供や二次配布

### 3. 製作に必要なもの

- 製作に当たっては以下のものが最低限必要となります
  - ・PC などデータをプリンターへ送信できるもの
  - ・カラープリンター(インクジェット推奨)
  - ・印刷用 A4 用紙(ケント紙200番などの厚手のものを推奨)
  - ・カッターナイフまたはハサミ
  - ・接着剤または糊(木工用やクラフトの速乾性ボンド推奨)
- あると便利なもの
  - ・スパチュラまたはヘラ(折線に予め折癖をつけます)
  - ・ピンセット
  - ・つまようじ(細かい部分への接着剤の塗布に便利です)
  - ・定規

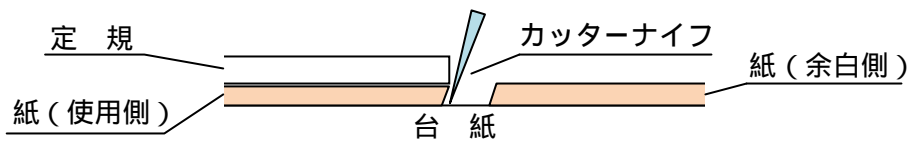
### 4. TIPS

・データで用いる線の種類と意味

- 【切り取り線】 この線で切り取ります
- - - - - 【山折り線】 この線よりのりしろを奥に折り込みます
- . - . - . - 【谷折り線】 この線よりのりしろを手前に折り込みます

・折線には予めスパチュラなどで折り目に沿って線を入れ、折癖をつけると綺麗に折れます

・紙に対しカッターナイフを斜めに切り込むと、組み立て後切り口が目立ちません



・切り口に類似色のペンなどで予め色を塗っておくと切り口が目立ちません(特に黒など濃い色)

・のりしろと対応する辺に接続番号が書いてあります。同じ番号の辺とのりしろを接着してください。

## 5. 製作手順

### 5-1. 紙の用意・注意点

今回は自立可能な等身大のトルソーを紙で作る事を目的としていますので、通常プリンター印刷で使用する紙厚の薄いコピー用紙などでは製作は難しいと思います。(可能ですが折れ曲がって自立できないと思います)今回実際に製作してみて、価格・強度・切る・曲げる・貼るなど工作の容易さから一番しっくりきたのは、ケント紙の200番という厚さ(約 0.24mm 程。官製ハガキより少し厚い)のものでした。必ずしもこの厚さでなければいけない訳ではありませんが、参考にして頂ければと思います。

### 5-2. データの印刷

はじめに型紙のデータを A4 用紙へプリントアウトします。型紙には【折線あり】データと【折線なし】データの 2 種類があります。どちらも完成品は同じものとなりますが、【折線なし】の方は【折線あり】より高難易度となります。プリンターの機能にあるページ指定印刷で必要なデータを印刷してください。

※こんなこともできます※

白ケント紙に印刷をしてもいいのですが、今回デモ用に作った作品は色つきケント紙を使用してみました。もし同じ方法で製作したい場合は、プリンターの鏡像印刷機能などを使って左右(裏表)反対の印刷を色ケント紙に行います。印刷した面を内側(表裏逆)として製作することにより、色ケント紙の発色を利用したトルソを作る事ができます。

### 5-3. 製作

次ページからの製作チュートリアルを参考に製作してください。但し、チュートリアルは今回購入いただいた【かべしリアル】と【かべし mini】共通となっており、使用している素体は【かべし mini】となっています。

なお、【かべし mini】は【かべしリアル】を約 1/3 に縮小したものであるため、基本的に各パーツの形状は縮尺が違っただけで共通なのですが、【かべしリアル】ではパーツを A4 用紙に収める事と、足パーツを脱着可能にしている点などから、若干パーツの細分化や足パーツの違いなどがあります。分割された各パーツなどの接合部分は、各パーツののりしろに書かれた番号と接合辺の外側に書かれた番号を合わせることによって間違っことなく製作可能になっていますので、焦らず組み立てていただければ難しくはないと思います。

肌 色 ト ル ソ

かべしり

mini

&

肌 色 等 身 大 ト ル ソ

かべしリアル

## 共通製作チュートリアル

## はじめに

本編は【 かべしり mini 】【 かべしリアル 】用製作チュートリアルです。作品を製作するにあたり、その手順等を画像にて補完するもので既に印刷、切り取りが終わっているものとします。

本編画像は基本的に【 かべしり mini 】の製作画像を用いています。【 かべしリアル 】に関しては大きなパーツが部分的に分割構造になっている事と【あし】部分が脱着可能になっているという点のみが異なりますが、その他の部分に於いての形状や製作方法は【 かべしり mini 】【 かべしリアル 】共に共通なので、このチュートリアルを参考にして頂ければよいと思います。

【 かべしり mini 】は【 かべしリアル 】の 1/3 縮尺モデルです

以下の各項において、共通の製作手順や注意喚起では

**共通**

マークをつけてあります。

【 かべしり mini 】独自の製作手順や注意喚起では

**mini**

マークをつけてあります。

【 かべしリアル 】独自の製作手順や注意喚起では

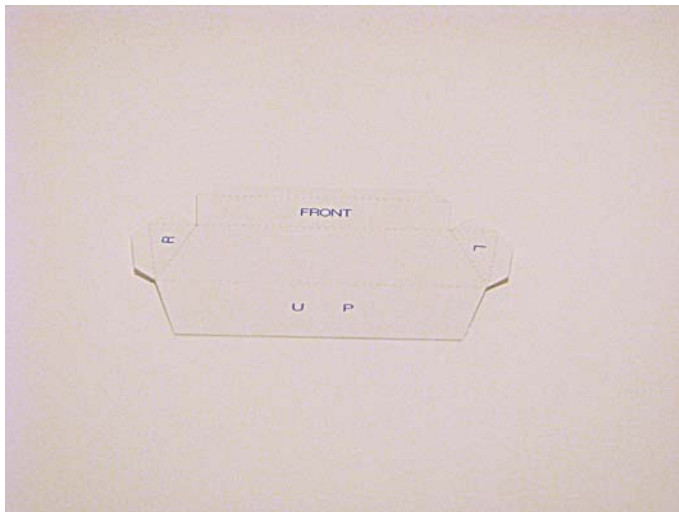
**リアル**

マークをつけてあります。



## 1. 【内骨格】の作成

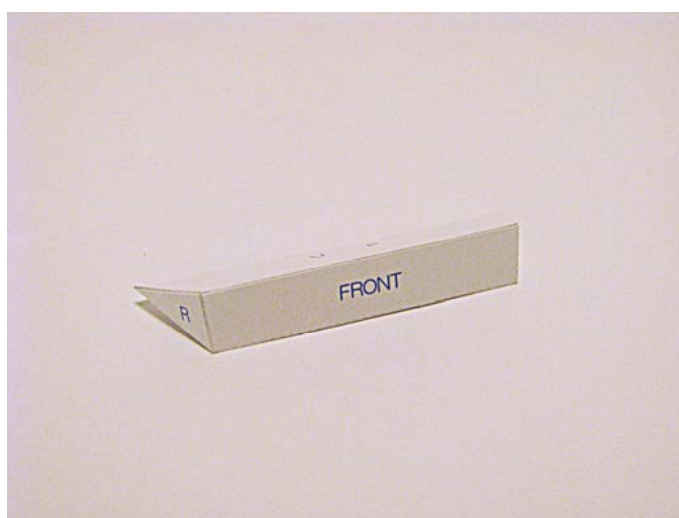
# 共通



1-1. 外枠の切断線に沿ってカッターナイフ等で切り出します。



1-2. 折り線に従ってあらかじめ折り目を付けておきます。この時あらかじめ折線の上に竹べらやスパチュラなどで折線を引いておくと綺麗な折線を付けることができます。この 1-1、1-2 の作業は以下のすべての作業に共通しています。また、折線なしの型紙を使うと鏡面の角張が減りますが、のりしろなどの折線が必要な場所もありますので、それらの場所は折線ありパターンの型紙も印刷し、透かして折線部にあらかじめ折線を入れることをお勧めします。

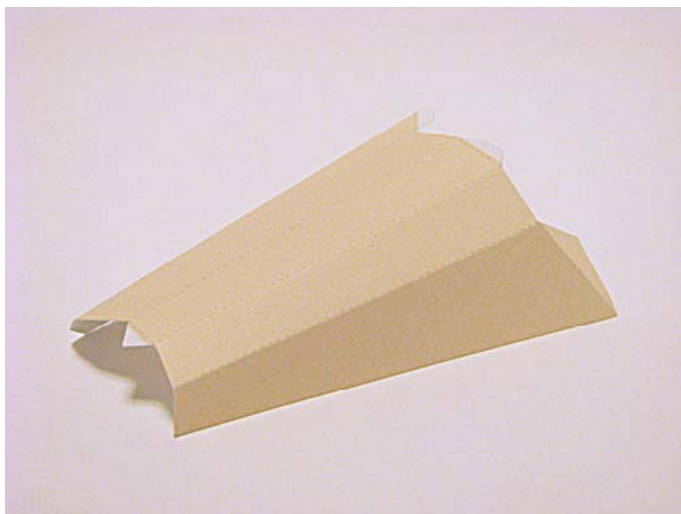


1-3. のりしろに紙用のりや木工用ボンドなどを塗り、接着します。細かい部分や手の入りにくい部分などののりしろには、つまようじに接着剤を付けるなどすると良いでしょう。

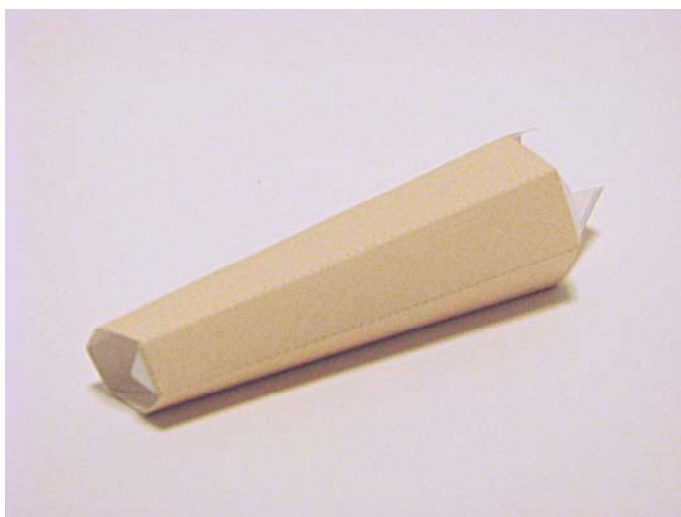
外骨格はこれで完成です

## 2. 【すね】の作成

# 共通



2-1. 切り出した【すね】パーツの折線に沿って折り目をいれておきます。



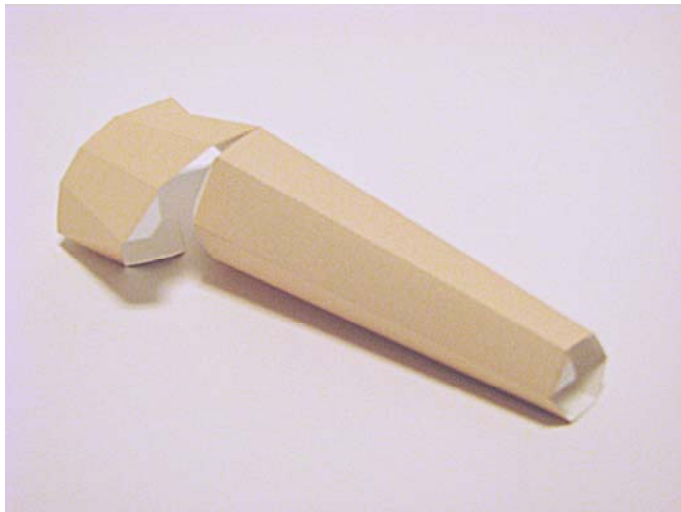
2-2. パーツを筒状に接着します

# リアル

リアルでは【すね】パーツが【すね下】【すね上1】【すね上2】の三部構造になっています。まずは【すね下】と【すね上1】【すね上2】を接着し、上記【共通】2-1.の形にしてから筒状にすると良いでしょう。また、1部分だけ【ひざ】パーツ部分が含まれていますので、上記筒状張り合わせ付近が一部出っ張ります。

3. 上記【すね】パーツに【ひざ】パーツを取り付けます

## 共通



3-1. 【ひざ】パーツを取り付けます。あらかじめ筒状にするよりは、【すね】と【ひざ】ののりしろを確実に一か所ずつ接合していき、最後にひざ部分が筒状になるようにした方がしわが寄りにくく綺麗に仕上がると思います。



【すね】に【ひざ】パーツの接合完了しました

4. 上記【ひざ】パーツに【もも】パーツを取り付けます

## 共通



4-1. 【ひざ】パーツ上部に【もも】パーツを取り付けます。非常に簡単な作業に見えますが、最終的に筒状にする際に接合面が大きく、かつ指が入りにくいので実は難所の一つとなります。

それぞれの人の指の長さや太さが違うので何とも言えませんが、踏ん張りどころですのでがんばりましょう！



【すね】【ひざ】【もも】が接合されました。ここまで来るとあとはだいぶ楽に感じると思います。

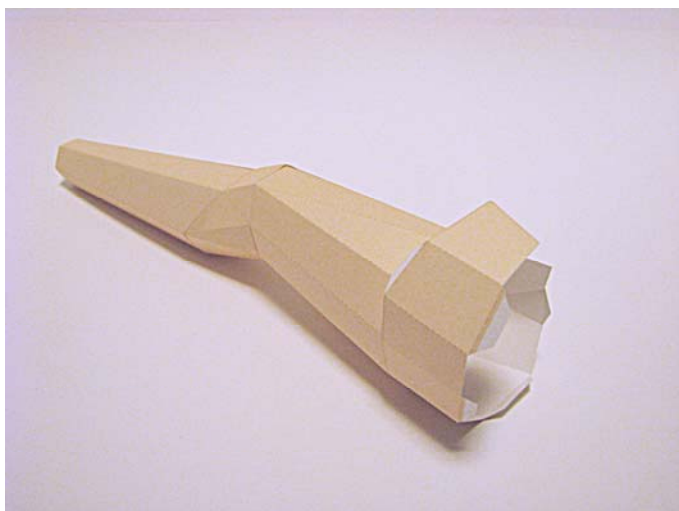
## リアル

リアルでは【もも】パーツが横に三分割されています。(さすがに大きいので……)こちらもあらかじめ3ピースを接着して、【もも】パーツを上記【共通】4-1 の状態にしてから作業をすると良いでしょう。なお、リアルでは内部に手を入れて作業ができますので、【もも】に関しては mini ほど難しくはないと思います。



5. 上記【もも】パーツに【もも上】パーツを取り付けます

## 共通



【もも】同様に【もも上】パーツを接合します



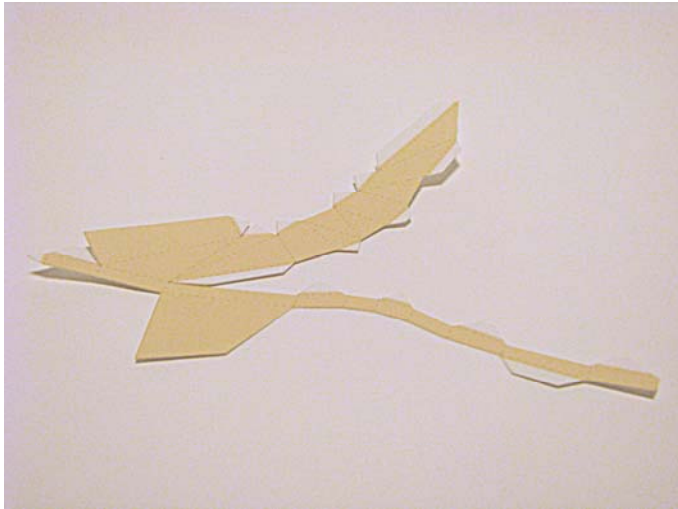
【もも上】までが完成しました

## リアル

こちらも【もも上前】と【もも上後】のパーツに二分割されていますので、それぞれのパーツを接合してから【もも】へ取り付けると良いでしょう。

6. 上記でできた脚部の【すね】部に【足】パーツを取り付けます。

## mini



6-1. まずは【足】パーツを作ります。切り出したパーツの折線部分にきちんと折線を入れます



6-2. ざっと折り曲げて形を作ります



6-3. 足裏以外の接合面を接着します。

リアルに関しては、まず必ず次ページを見てください



- 6-4. 完成した【足】と【すね】を接合します。  
まずは、かかと部分ののりしろを接着し、完全に乾くまで待ってください。



- 6-5. かかと部分が着いたら、その他ののりしろを接合します。このとき足裏から指を入れてのりしろ部分をギュッと押さえるといいでしょう。

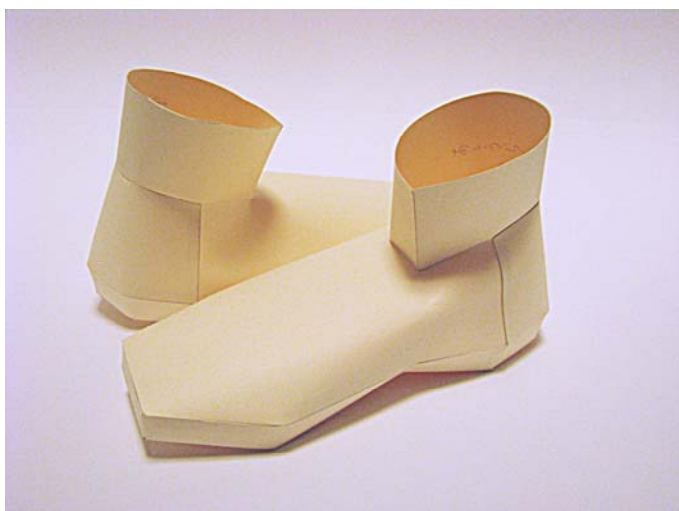
【足】と【すね】の接合が終わったら(左の写真のようになったら)残った足裏部分を接合します。

ここまでの作業を左右分行い、両足の足先から太腿までを完成させてください。

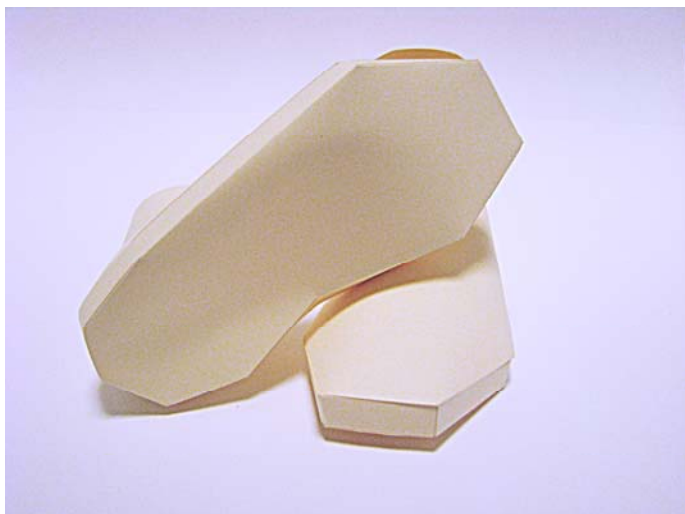
# リアル

リアルでは【足うら】【足横】【足甲】【足首】の四分割となっています。接着順としては

1. 【足裏】にひも状の【足裏】パーツを接着
2. 【足裏】と【足甲】を接着
3. 【足甲】と【足首】を接着 とすると良いでしょう。



一見複雑そうなリアルの足ですが、のりしろも大きくパーツの構成も少ないので対応番号同士を接合していけば難しくはありません。写真の足首部分がテーパ形状で【すね】に刺さり脱着可能となります。リアルで靴やブーツを履かせたい時などは、この【足】パーツを外して靴やブーツに差し込むことにより履いているように見えます。【足】をつけたままでは人間でいうクラブシが固定されているので、絶対に靴は履けません。但し、かかと部分を外して足先にスライドできるミュールなどなら履けるかもしれません？



ごく簡単な形状ですがリアルでは足裏が完全に閉じています。このためソックスを履かせたときの足裏が綺麗に表現されます。また、製品版の TIPS にあるように、この【足】の中に【水アンカー】※1を入れることができるため、大柄な壁尻であるにも関わらず自立することが可能となります。

※1 水アンカーとはビニール袋などに250~300ml程の水を入れて口を固く絞ったものです。形状が変形できるように袋には余裕を持たせると良いでしょう。

**※ リアルではこの【足】パーツと【すね】パーツは接着しません、ご注意ください！**

ここまでの作業を左右分行い、両足の足先から太腿までを完成させてください。



7. 上記で作った脚部どちらかに【しり】パーツの片側を取り付けます(これを左右つくります)



7-1.

**mini**

折線をきっちり折っておくと作業が楽です

**リアル**

リアルでは【しり】パーツが三分割されてますので、まずはこの形状になるようパーツを接合しましょう

**共通**



7-2. 上記【しり】パーツの内側ののりしろを全て接合し、左記のような形にします

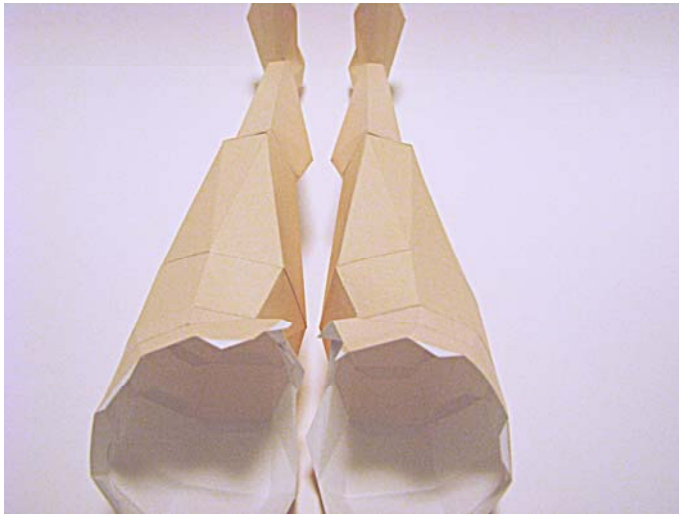


7-3. 【しり】パーツを【もも上】パーツに接合します

これを左右分作ります

8. 左右の【しり】パーツを接合します。まず、股部分をしっかり接着しておくこと綺麗に仕上がります。

## 共通



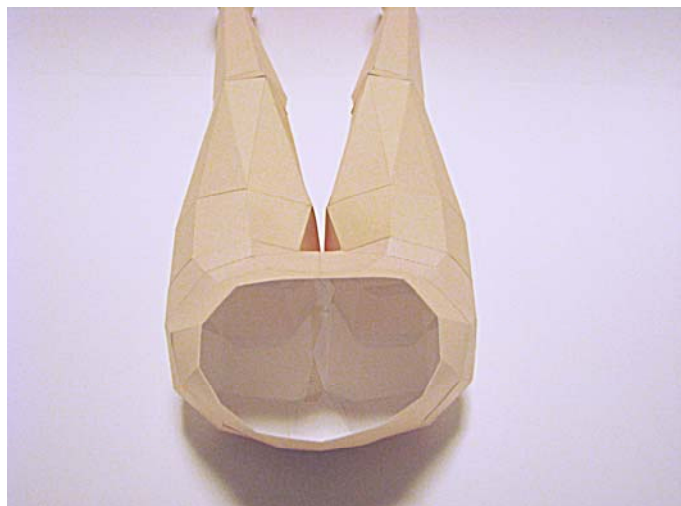
8-1. 接合順に決まりはありませんが、幾つかやってみたところ【股関節部分】→【前部】→【後部】と接着すると綺麗に付くようです。また、股関節部分は外から見えずテンションもかかりやすいため、両面テープなどの強力な接着方法を用いるのも良いかもしれません。

リアルでは接合部内部上からテープなどを貼るのも良いかもしれませんね。



今回は股関節部分に両面テープと接着剤を併用してみました。両面テープは強力で接着も早く使いやすいのですが、テープの厚みで段差ができる(気になる)ので、使用可能な場所が限られてしまいます。また、貼り直しができませんので、確実に一発で決めないとパーツが無駄になってしまうリスクがありますので、お気をつけて！

9. 上記で出来上がった胸部分に【胴上】部分を接合します



**mini**

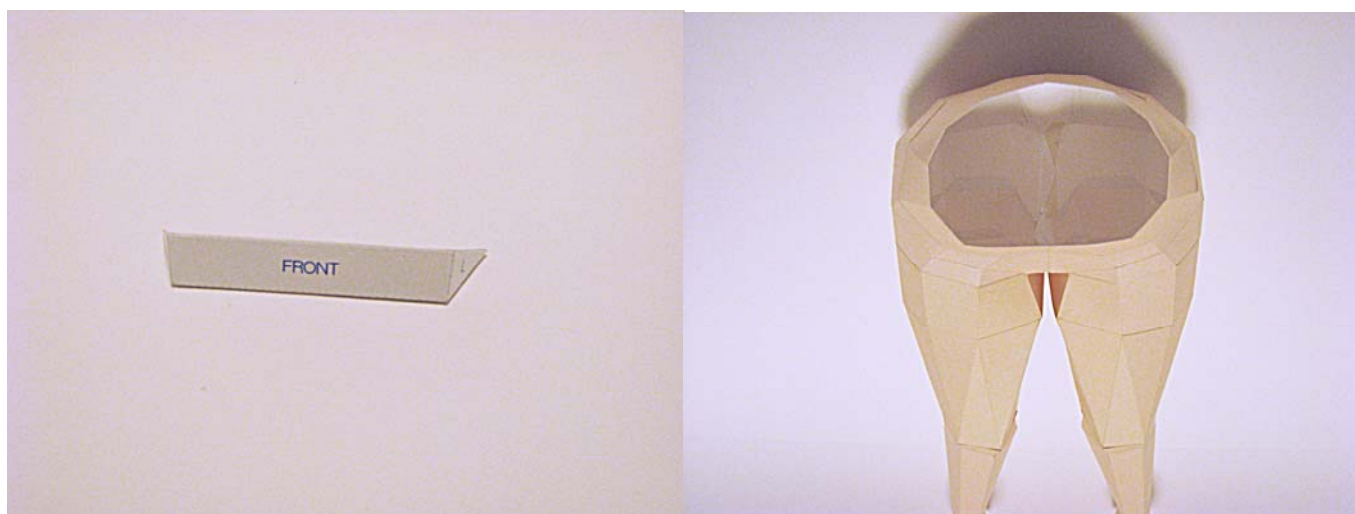
そのまま接合可能です

**リアル**

三分割されているので、まずはこれを接合し帯状にしてから接合します

10. 最初に作った【内骨格】を【胴上】内側に接着します。【胴上】パーツ余白のLRと書かれた辺に【内骨格】のLRを面に接着しましょう。【内骨格】は斜めにして胴体内に入れてください。

**共通**



10-1. 【内骨格】(左写真)を斜めに右写真の腰内に差し込んで、接着部分のだいたいのアタリをつけてください。

10-2. 【内骨格】の○●部分に接着剤を少し多めに盛り、胴上パーツに接着します。

以上で完成となります  
お疲れ様でした！



■ 衣装付サンプル画像です ■

等身大なので本物の衣装を装着することができますが、実際の標準的3次元体系より若干デフォルメされていますので、サイズ的にはSなど一番小さいものが合うのではないかと思います。トルソーなので、衣装の展示用などにも十分使ってもらえると思います。

いっぱい作って華やかな部屋を演出するのもいいですね！

※ 当キットに写真の衣装は含まれません ※



Sサイズのショーツとニーハイのソックスを合わせてみました。ソックス装着時はデンセンに気を付ける必要があるのですが若干厚手の方が履かせやすいですが、あまり厚かったりサポートがきついタイプだと締め付け力でグシャッと潰れる可能性もあります。

また、ソックスを履かせるときは足パーツをそのままつけておきます。



ブーツや靴を履かせるときは足パーツを外してそのまま靴やブーツに差し込みます。ローファーやスニーカータイプなどを履かせるときは、足パーツを外した状態でソックスなどを履かせて靴に差し込むと、靴を履いている感じがよりリアルに再現されます。



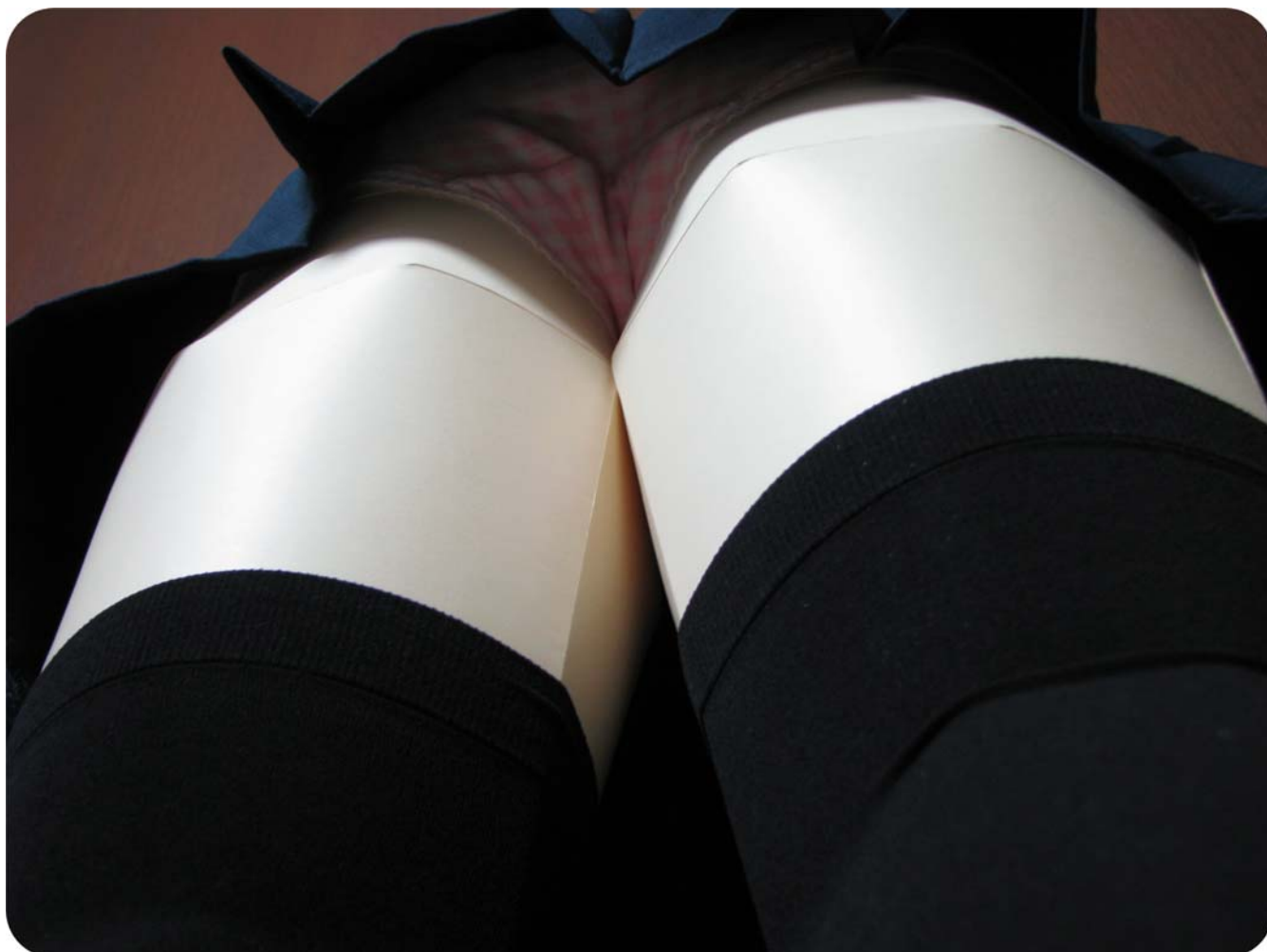




プリーツスカート+ショーツ+ニーハイの組み合わせです。最近是比较的短いソックスが流行っていると思いますが、あえてニーハイにすることにより下のような写真が……

※ 当キットに写真の衣装は含まれません ※

合法ローアン画像です。やっぱりこの3点セットの破壊力は大きいですね。モデルが疲れることありませんので、好きな組み合わせで角度や照明にも拘ってじっくり撮影することができます。





ペーパークラフトフィギュアブック  
かべしリアル TYPE-JC

著 者 ももくりめろん

発行日 2018年12月

住 所 日本国

<http://momoclitmeron.com/>